



エンジャーナルしずおか

平成26年(2014年) 11月20日 木曜日 第143号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県教育委員会 新委員の紹介



静岡県教育委員の高橋高子氏は平成26年10月20日をもって退任し、後任として渡邊靖乃氏が就任しました。任期は平成26年10月21日から4年間です。

渡邊 靖乃氏 (三島市在住)

静岡県PTA連絡協議会理事・副会長、静岡県教育委員会社会教育委員等を歴任し、現在は、三島市社会教育委員、三島市PTA連絡協議会事務局非常勤、みしまコロッケの会など、地域の社会教育や街づくりに奔走。

〈渡邊委員から御挨拶〉

PTAや街づくりの活動を通じて、大人と子どもが学びあうことのすばらしさを感じてきました。より良い静岡県の教育を実現するため、県内各地で教育に携わる多くの方々の立場や思いを大切にしながら、丁寧に話し合いを重ねていきたいと思っています。移動教育委員会等で、皆様にお目にかかる機会を楽しみにしています。

自分の未来を拓(ひらく)ために ~「単位制定時制高校」の特徴を紹介します~

現在、県立の単位制の定時制高校は、県内に三島長陵高校、静岡中央高校、浜松大平台高校の3校があります。これらの高校は、様々な事情を有しながらも、学習意欲のある方々のニーズに応える新しいタイプの高校として設置されました。「単位制定時制高校」の特徴を紹介します。

○ライフスタイルに合わせて学べる

生徒各自の生活のペースに合わせて、午前、午後、夜間の三つの学習時間帯の中から、都合の良い時間帯を選び、学ぶことができます。

○誰でも学べる

中学校又はこれに準ずる学校を卒業見込みの者、中学校を卒業した者等であれば志願することができます。年齢層は10歳代が約9割と多くなっていますが、20歳代から70歳代の方も約1割おり、幅広い年齢層が意欲的に学んでいます。また、他の高等学校から転入学編入した場合には、既に修得している単位を卒業に必要な単位数に含めることができます。

○いろいろ学べる

学年の区分がなく、必要な単位数を修得すれば卒業することができます。年度ごとの時間割は、自分の進路目標に合わせて、学習する科目を決めて作るので、自分のペースで無理なく学習を進めることができます。また、全日制課程と同じように運動部や文化部の活動も多く、定時制の全国大会への出場を目指して、限られた時間の中で一生懸命に活動しています。

○様々な進路

高校卒業後は、4年制大学、短大、専門学校等へ進学、就職など、多様な進路を実現できます。生徒個々の事情を理解して熱心に指導してくれる先生方や似たような境遇で互いに刺激し合い成長できる仲間とともに、個々の目的意識に合わせて、無理のない学校生活を送れます。入学者選抜、教育内容等の詳細については、各校にお問い合わせください。

4年制大学	16.1%
短期大学	2.9%
専門学校等	23.6%
就職	28.2%
進学準備	3.5%
その他	25.7%

三島長陵高校 055(986)2000 静岡中央高校 054(209)2431 浜松大平台高校 053(482)1011

全国学力学習状況調査 「児童生徒質問紙」から 「学校質問紙」から

本年度の全国学力・学習状況調査(以下、調査という)の結果が8月末に公表されました。調査では、国語と算数・数学の問題とともに、児童・生徒と学校を対象とした質問紙調査も行われています。

例えは、「自分にはよいところがある」と答えた子どもの平均正答率はそうでない子どもと比較し、高い傾向が見られます。

昨年度県教育委員会では、「国語と算数・数学の結果分析・対策」とともに、「家庭学習の重要性」について、リーフレットを通して家庭や地域に広く発信しました。



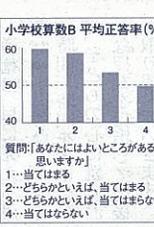
袋井市立袋井北小学校では、地域や家庭が学校と連携し、子どもたちの健やかな成長を支えていくことを願い、平成21年度に学校支援ボランティア(ア)もえサポーターズを結成しました。「自分のできる時間」に、自分の「できる仕事」を、基本理念に活動しています。



ほめて伸ばそう 子どもの力!

本年度の調査結果から、本県では「自分にはよいところがある」と答えたところが、「地域」の行事に参加している「子どもが多いこと」が分かりました。本県の子どもたちが、保護者の皆様の愛情や地域の方々のお力添えによって育まれていることが再確認されました。そして、それらは、子どもたちの学力を伸ばすためによい影響を与えていることも明らかになりました。

「家庭・地域の方」向けリーフレットを制作し、小中学校の全ての保護者に配布する予定です。また、広く地域の方にも御覧いただくために、地域の公民館等の公共施設にも配布します。



家庭や地域の方々の協力は、子どもたちのよりよい成長に、なくてはならないものです。

「家庭・地域の方」向けリーフレットを制作し、小中学校の全ての保護者に配布する予定です。また、広く地域の方にも御覧いただくために、地域の公民館等の公共施設にも配布します。

子どもを伸ばすこと、伸ばす方法を、本年度は、学校・家庭・地域の連携をさらに深め、子どもたちの可能性や学力などを一層伸ばしていくために、調査結果の分析内容を基に、「家庭と地域の方」向けのリーフレットを作成し、目について示しました。ぜひ、手にとりていた



富士根南小での取組 富士宮市立富士根南小学校では、平成25年度に旧来から支援・協力をいただいている25以上の団体が一つにまとまり、「学校応援団『愛育会(P.T.A)+C(地域)』」の活動が始まりました。活動は、学習支援、読み聞かせ、ゲストティーチャー、校内外施設の利用



家庭科の縫製支援も行います 学校支援地域本部は、「地域の子どものために何かしたい」という地域の温かい思いに支えられています。子どもの健やかな成長を願うことは、学校も地域も同じです。学校と地域が話し合いを重ねて、信頼関係を築いていくことが、継続した活動につながります。その地域ならではの「学校支援地域本部」がさらに広がっていくことを期待しています。

「学校支援地域本部」

県内各地の「学校支援地域本部」で活発な支援活動が実践されています。学校と地域が連携して充実した活動を行っている「学校支援地域本部」を紹介します。

袋井市立袋井北小学校では、地域や家庭が学校と連携し、子どもたちの健やかな成長を支えていくことを願い、平成21年度に学校支援ボランティア(ア)もえサポーターズを結成しました。「自分のできる時間」に、自分の「できる仕事」を、基本理念に活動しています。

「社会教育課」

実践NOTE 285

よりよく生きようとする、心を耕す道徳の時間を 目指して

浜松市立和地小学校 教諭 青木 麻里絵



筆者

前任の浜松市立気賀小学校での実践を紹介しよう。浜松市では、人づくりのキーワードを「心の耕し」とし、幼児期から継続して子どもたちの心を育てる取組を進めています。道徳の時間では、他の教育活動で行われた道徳教育を補充・深化・統合しながら「登場人物との出会い」「高められた新たな自分との出会い」の三つの出会いを大切に授業を目指しています。

気賀小学校では、「生きる力を育てる気賀小教育の実現」を教育目標に研修を進めています。その中の道徳での実践を紹介します。

登場人物との出会い「サッカー選手にインタビュー」

子どもが身近に感じる

ことができる人物を題材にしたいと考え、浜松市のサッカー選手である松浦拓弥選手を題材に自作資料を作成しました。

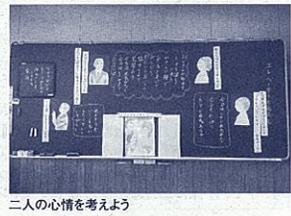
多様な考え方との出会い「主人公に変身」

低学年では、多様な考えを引き出すために役割演技を行いました。お面を付けて主人公になりきって動作化をすることで、主人公の迷いや葛藤

主人公一人の心情だけでなく、主人公の心を変容させるきっかけとなった人物の心情を同時に考えるようにしました。



しまのおさるに変身!



二人の心情を考えよう



心の振り返りで成長を実感

高められた新たな自分との出会い「心の振り返り」

高学年では、年間同じ形式のワークシートを活用しました。今までの自分から今の自分というテーマで自分の心軌跡の振り返りを行いました。

地域活用「里山体験」

園から2キロの所に「諸井の里山」があります。この里山は、地域の方が四季折々の植物や小動物に出会い触れ合えるようにと、森の中に小川や池を作り、数年かけて造成しました。子どもたちは、1年を通して何度も出掛けています。



こころのきを花一杯にしよう

道徳は、目に見える成果は表れにくいですが、一時間一時間を大切にしてい、子どもたちの心に響く温かな授業を目指して今後取り組んでいきます。

実践NOTE 286

元気で頑張る子の育成 「丈夫な体づくり」 「地域活用」の取組を通して

袋井市立浅羽東幼稚園 園長 澤田 奈緒子



運動会ごっこ(筆者)

本園の子どもたちに行った調査では、家庭ではテレビを見たりゲームをしたりして過ごし、園には車で送迎する家庭が多いという実態が明らかになりました。

そこで「丈夫な体づくり」「地域活用」の2点を軸に、保育展開や環境の工夫に力を入れ、心も体も元気で頑張る子どもたちに育つようにとの願いをもつて取り組んでいます。

3・4・5歳児の運動能力の発達について本園児の実態と比べながら捉え直しを図りました。そして心と体の両面から運動遊びのねらいをおさえ、年齢に応じた遊びを選択して指導計画に位置づけ、保育展開や環境を見直しながら実践しています。

子どもたちの興味をそそる環境がこの里山にはたくさんあります。体力作りとともにたくましく心を育て、故郷を大切に思う気持ちを育てることにもつながっています。



水に親しみ楽しむことを大切に

室内遊びが多く運動量が少ないA君

友達が崖を登って山の上まで行く姿に刺激を受け、登りたいという強い意思が働いて、自分を鼓舞しながらよじ登っていく姿が見られました。

幼児期では、色々な水遊びや環境を工夫することの大切さを改めて学びました。それ以来教師は、「水と仲良し」を重点にねらい、遊びや環境を工夫し、楽しく水と遊ぶ時間を多く設けました。



ぼくだって崖登れるよ!

★車での通園が多く歩くことが苦手なBさん
里山の環境に魅力を感じ、小川や池の中を覗いたり、木の実や葉に興味を持って探したりしていつの間にかお弁当の時間になるまでずつと歩き回っている姿が見られました。

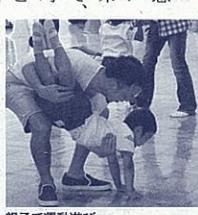


里山には遊び場がいっぱい

親子で楽しむ運動遊び

我が子の体力や心育に関心をもちたい。これを願う、参加会や運動会などに親子で運動遊びをする場を設けています。親子も子どもと一緒に体を動かす楽しさを味わう姿が見られました。

体を動かす気持ちよさや親子の触れ合いを楽しむ場として、保護者参加の機会を設け、家庭での触れ合いや運動遊びが増えていくように啓発していく必要性を感じます。



親子で運動遊び

これからの体を動かす楽しさや喜びが実感できる魅力ある遊びや環境の工夫に力を注ぐとともに、家庭や地域と連携しながら健康やかな心と体づくりを考えていきたいと思えます。

芸術鑑賞会は グランシップを 活用しよう!

中学生鑑賞プラン
が
お
得
主
催
事
業
を
お
得
に
鑑
賞
で
き
る
「
中
高
生
鑑
賞
プ
ラ
ン
」
を
御
存
知
す
か?
対
象
と
な
る
公
演
(
通
常
1
0
0
0
円
)
を
、
一
人
8
0
0
円
と
い
う
特
別
価
格
で
鑑
賞
で
き
ま
す!
様
々
な
ジ
ャ
ン
ル
の
舞
台
芸
術
鑑
賞
会
と
し
て
特
に
お
薦
め
の
公
演
は
、
一
国
立
劇
場
歌
舞
伎
鑑
賞
教
室
初
め
て
歌
舞
伎
に
触
れ
る
子
ど
も
た
ち
に
も
分
か
り
や
す
い
解
説
付
き
で
す。
来
年
度
は
6
月
に
グ
ラ
ン
シ
ッ
プ
で
開
催
予
定
グ
ラ
ン
シ
ッ
プ
ま
で
の
交
通
費
支
援
制
度
も
あ
り
ま
す。
是
非
来
年
度
の
芸
術
鑑
賞
会
と
し
て
御
検
討
く
だ
さ
い。



歌舞伎鑑賞教室

★**アーティストが学校に**
グランシップでは、学校等にアーティストを派遣するアウトリーチ事業も行っていきます。音楽コンサーツ、伝統芸能体験など、子ども達にとって身近で芸術に触れられる貴重な経験になります。

民間企業等長期派遣研修で 変化した自分の姿勢

静岡県立伊豆総合高等学校 教諭 池谷明治



納品する製品の性能テストをする筆者(左)

ました。
学校現場に戻った今、研修で学んだことを生かせるよう、次のことを意識しています。

工数的な考えの導入

企業において、工数という言葉があります。学校現場では馴染みのない言葉ですが、これは仕事量を表す概念のことで、例えば、2人が3時間作業を行えば工数は2×3＝6(時間・人)となります。企業では、この工数にチャージと呼ばれる1時間当たりの単価を乗じて製品に掛かる労務費の設定をします。

平成25年度、私は民間企業等長期派遣研修生として、学校現場を離れ、1年間民間企業で研修させていただきました。研修先は、生産制御システムや製品検査装置を製作する企業で、私は仕様書作成、設計、製作検査、現地納入などの業務に携わり

ました。学校現場に戻った今、研修で学んだことを生かせるよう、次のことを意識しています。

研修先は、学校での各業務に対し、どこまでやったら完了なのかはつきりせず、一つのこと

の時間を費やしてしまいう場面が多くありました。企業では、仕様書に書かれたこと以外に工数を掛けるのはNGです。研修後、この心得の「利益」と「SE」の部分で自分なりに学校現場の実情に置き換えて校務に取り組んでいます。これに加え、研修から学んだ要件(企業では顧客のニーズ、学校では生徒・保護者の要望を含めた全ての校務を「must」なのかそれとも「want to」なのかを明確に区別して取り組むことにより、完了とするラインを顕在化できるようにしました。

今回の研修を通して、これからの時代に企業が求める人物像や生徒が身に付けるべき能力について、具体的かつリアルに知ることができました。研修で得た成果を学校現場に還元し、生徒に対する指導に役立てていきたいと考えています。

静岡の次世代づくり

教育委員会事務局参事兼教育総務課長 池田和久



筆者

県教職員のコンセプト

言葉は、企画や広告において、「全体を貫く統一的な視点や考え方」という意味で用いられ、半ば日本語になりつつあります。

時代錯誤のように思われるかもしれませんが、私は「静岡県が好き」という「強力的なコンセプト」が、民間以上に必要となるのではないのでしょうか。

民間企業における利潤のような明確な共通目的を持たない県職員(行政、教員、警察官等)は、生きがいややりがいを感じられる強力な「コンセプト」が、民間以上に必要となるのではないのでしょうか。

「仕方がない」ではなく、「積極的に静岡県に住み、この地域をより良くしたい」という気持ちで我々の強いコンセプトとなり、さらに同じコンセプトを持った県民(教職員の場合、地域の人たち、保護者など)とこれから「協働」して仕事をしていくことができるのではないかと思います。

この「魅力ある地域」とは、出生率の低下による人口の自然減は全国共通の課題ですが、平成25年の人口動態で静岡県は、人口減少数が2位、特に転居等による社会減では2位の北海道の1.5倍、かつての北海道1位という格差が顕著です。一方、東京一極集中は加速するばかりです。原因は、県内に希望する就職先が無いというより、学生に帰ってくる意思がなくなっているように感じます。

静岡の魅力づくり

先日、静岡県舞台芸術センター芸術監督の宮城聰氏の講演を伺ったところ、多くの中小学校を見て「元気のある学校はみんな元気な大人しい、これは今の子供が空気を読んでいるから」と感心し、居場所が無い子たちは東京を目指さず、周りに変わつた人間が居てもおかしな街は、日本に東京しかないから」と人に注目して東京一極集中を説明していました。

これからの本県は、温暖な気候、富士山、新鮮野菜など、他方本願にないものでなく、街道沿いにあったであろう、多様な人や価値観を受け入れる寛容さと積極的な地元に住もうとする気持の連鎖から何かが生まれているのではないかと期待しています。

ありませぬ。静岡が好きなというコンセプトが、卒業後、外国に居ても本県のことを想い、県内に住む人は、世界に誇れる地域にしようという前向きな気持ちで住むようになります。

【埋蔵文化財センター】

の仕事を一生懸命にやるのも「静岡県が好き」だからに他なりません。教職員の場合は、「児童・生徒のため」という声が聞こえてきそうですが、それなら私学でも、県でもできる仕事です。「仕方ない」ではなく、「積極的に静岡県に住み、この地域をより良くしたい」という気持ちで我々の強いコンセプトとなり、さらに同じコンセプトを持った県民(教職員の場合、地域の人たち、保護者など)とこれから「協働」して仕事をしていくことができるのではないかと思います。

先日、静岡県舞台芸術センター芸術監督の宮城聰氏の講演を伺ったところ、多くの中小学校を見て「元気のある学校はみんな元気な大人しい、これは今の子供が空気を読んでいるから」と感心し、居場所が無い子たちは東京を目指さず、周りに変わつた人間が居てもおかしな街は、日本に東京しかないから」と人に注目して東京一極集中を説明していました。

これからの本県は、温暖な気候、富士山、新鮮野菜など、他方本願にないものでなく、街道沿いにあったであろう、多様な人や価値観を受け入れる寛容さと積極的な地元に住もうとする気持の連鎖から何かが生まれているのではないかと期待しています。

ありませぬ。静岡が好きなというコンセプトが、卒業後、外国に居ても本県のことを想い、県内に住む人は、世界に誇れる地域にしようという前向きな気持ちで住むようになります。

ありませぬ。静岡が好きなというコンセプトが、卒業後、外国に居ても本県のことを想い、県内に住む人は、世界に誇れる地域にしようという前向きな気持ちで住むようになります。

ありませぬ。静岡が好きなというコンセプトが、卒業後、外国に居ても本県のことを想い、県内に住む人は、世界に誇れる地域にしようという前向きな気持ちで住むようになります。

ありませぬ。静岡が好きなというコンセプトが、卒業後、外国に居ても本県のことを想い、県内に住む人は、世界に誇れる地域にしようという前向きな気持ちで住むようになります。



【埋蔵文化財センター】

君の夢 はばたけ今 ながさきから 「長崎がんばらんば国体2014」県勢の活躍

第69回国民体育大会が10月12日から10月22日まで長崎県を舞台に開催され、本県は正式競技33競技に出場しました。会期前に開催された水泳競技では、シンクロ、水球、競泳、飛込と全ての競技で入賞し、成年男子高飛込で萩田拓馬選手(静岡ビル保善(株))が優勝するなどの活躍で、目標の競技得点100点を越えました。

本大会では、特にレスリングでの活躍が目立ち、高橋和希選手(飛龍高3年)、梅原駿選手(県立沼津城北高3年)、山本泰輝選手(飛龍高3年)、萩原卓希選手(専修大3年)、川村侑平選手(拓殖大2年)が優勝しました。また、陸上競技では男子400mで加藤修也選手(早稲田大1年)、馬術では川口雅美選手(ライディングクラブジフマ)、ボウリングでは成年女子団体(4人チーム)が優勝を果たしました。

大会を通して入賞数は86、天皇杯順位(男女総合成績)は26位と昨年の20位から順位を落としましたが、本県選手は各競技において持っている力を発揮しました。6年後の東京でのオリンピックに向け、今後も関係団体と連携を図りながら、より一層の競技力向上に取り組んでいきます。

【スポーツ振興課】



馬術トップスコア競技で優勝した川口雅美選手



400mで2年連続優勝した加藤修也選手(左)

第69回 国民体育大会 本県の入賞数

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	合計
成年男子	4	5	4	1	3	3	3	2	25
成年女子	2	3	2	1	2	2	3	1	16
少年男子	3	4	3	2	4	3	3	1	23
少年女子	0	3	1	5	2	5	2	4	22
合計	9	15	10	9	11	13	11	8	86

総合教育センター
よすなぐらブル

紹介します! 磐田市の 保幼小連携

リーフレットの作成

「保幼小合同研修会」には、認可保育所・幼稚園の主任と小学校の1年主任又は担任が参加しました。講演を聴いたり、情報交換をしたりするだけでなく、保幼小の円滑な接続に向けた話し合いも行われました。この話し合いを基に完成したのが「保幼小の円滑な接続」というリーフレットです。これには、就学前の子どもの生活に「小学校1年生に身に付けさせたい」基本的な生活習慣や人との関わり方などの「社会性」がまとめられています。

【総合支援課小中学校班】

子どもたちが、保育所・幼稚園の生活から小学校へ滑らかに移行できるようにするため、各町で、保育所・幼稚園、小学校の実情に合わせた様々な連携が実施されていくことを期待します。

会)を行うようになりました。

滑らかな移行のために

幼稚園教育要領には、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会を設けるようなど、連携を図るようになっています。また、保育所・幼稚園、小学校の連携については、保育所保育指針や小学校学習指導要領にも述べられています。

連携の輪が広がる

保育や授業を相互に参観

磐田市には、認可保育所22(公立9・私立13)幼稚園25(公立22・私立3)小学校23があります。これまでも、公立幼稚園と小学校の先生が合同で行う研修会があります。また、小学校の先生が幼稚園・保育園に参観したり、幼稚園・保育園の先生が小学校に参観したり、相互に理解を深めたり、子どもが通うという考えから平成23年度に公立の認可保育所25年度からは、私立の認可保育所・幼稚園も加わって、「保幼小合同研修

観音山アウトドア教室参加者募集 ～初級青少年指導者養成研修会～

野外活動リーダーにとって必要な知識や技能を習得するための研修会を開催します。修了後には、初級青少年指導者に認定されます。

- 日時 11月10日(土)～12日(月祝)(2泊3日)
- 定員等 中学生・高校生計30人程度
- 参加費 6,000円
- 受付 11月10日(月)～12日(月)



私たちの学校に、地域の芸術家やってくる! 文化出前講座の開催

県では、次代の文化の担い手として期待される子どもたちに芸術・文化への関心を高めてもらうため、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校に地域の芸術家などを講師として派遣する「文化出前講座」を開催しています。

講師である芸術家等の講話や実技披露、体験学習を通じて、子どもたちはその道の達人ならではの経験やものの見方を学ぶだけでなく、専門的で高度な技法に触れることもできます。

本年度は9校で開催を予定しており、既に開催した学校からは、「生徒が一つの目標に向けて一緒に取り組む体験ができたことは、大きな収穫であった」との報告も受けています。また、先生方にとっては指導方法や教材研究の参考にもなるので、大好評です。

平成27年度の出前講座も9校程度を予定しており、募集は2月頃行う予定です。校内で本物の芸術を体験できる絶好の機会です是非、貴校でも計画してはいかがでしょうか。



問 県文化政策課 054(221)3109

芸術祭2014 再オープンするグランシップで芸術祭を堪能しよう!

「合唱コンクール」12月6日(土)午前10時30分開演

合唱は、各団体が奏でるドラマ。歌で、これまでの練習・仲間との絆すべて凝縮して表現します。

「邦楽演奏会」12月7日(日)午後1時開演

多彩な魅力を持つ和楽器の音色に心癒されるひとときをどうぞ!

※両イベントとも入場無料、会場はグランシップ中ホール・大地。
問 県文化政策課 054(221)2254



ひきこもりで悩んだときは… 「アンダンテ」に

青少年交流スペース「アンダンテ」は、15歳から30歳代のひきこもり傾向にある青少年及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。

- 個別面談・電話相談、フリースペースの提供
- ・とき 月～土曜日 午前11時～午後4時
- ・場所 アンダンテ(静岡市駿河区馬淵1-17-1)
- ※面談希望の方は事前に予約が必要です。電話又はFAXでお申し込みください。
- 親(保護者)の会の開催
- ・とき 毎月第3土曜日 午後1時～午後4時
- ・場所 県青少年会館(静岡市葵区田町1-70-1)

問・申 アンダンテ(静岡市駿河区馬淵1-17-1) 県男女共同参画センター「あざれあ」5階 054(255)0600
HP http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080

【社会教育課】

図書館で 健康長寿の ススメ

健康医療情報コーナー
県立中央図書館「健康医療情報コーナー」では、医療情報「コーナー」では、病気の予防や体のことについて調べる際に役立つ資料を集めています。

9月26日に開催した第1回目の健康医療情報講座「知ってなるほど食中毒」では、食中毒の基本や普段の生活での注意点を今すぐできる予防法などを静岡県立大学食品衛生学部の島村先生にお話いただき、受講者の皆様にも大変好評でした。



分かりやすいお話で好評でした!

健康医療情報を調べるなら「インターネットでいいじゃん」と思ったあなた、インターネットの情報にまぎれ玉石混濁です。最新の正確な情報が入手できる場合もあります。が、営利目的の怪しい情報や、正確な知識のない人が書いているものもあります。

第2回目の講座は、今後ますます身近になっていく「介護」をテーマに、介護福祉社の方を講師に迎え、講演会を開催する予定です。皆様の御参加をお待ちしています。

- 【日時】12月13日(土) 14時～16時まで
- 【講師】中西千枝子氏 中邑愛氏
- 【会場】県立中央図書館
- 【定員】40人(先着順)
- 【要事前申込み】
- 【詳細については、当館Webサイト等でお知らせします。】
- 【県立中央図書館】

健康医療情報講演会
年間を通して様々なテーマで開催している当館の図書館講座「葵」では、年2回、健康医療情報講座も実施しています。

先日は、アメリカの有名なキャラクター「トニー」が来日したという噂が流れた。トニーは、子どもたちの憧れのキャラクター「Great!」と「Very good!」など愛称がつけられている。トニーは、子どもたちにも愛されている。トニーは、子どもたちにも愛されている。トニーは、子どもたちにも愛されている。

文化祭・体育祭など 各イベントでご利用ください。卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか?

オリジナルショップ **グッズ**

〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。
Tel.054-285-6502
〒422-8066 静岡市駿河区泉町5-33-1F
Fax.054-286-3041